

定 例 記 者 会 見 資 料

日時 令和3年10月15日（金）10：00～

場所 白石市防災センター2階 大会議室

1. 税務課窓口におけるキャッシュレス決済の試験導入について
2. 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業について
3. 学校における生命(いのち)の安全教育推進事業について
4. 電子図書館の導入について

【記者会見の動画配信について】

記者会見の様子を記者会見終了後に動画配信させていただきます。
記者の皆さまもご理解願います。

白 石 市

令和3年10月定例記者会見資料

税務課窓口におけるキャッシュレス決済の試験導入について

担当：総務部 デジタル推進課

キャッシュレス決済は、利用者の利便性向上に資するものであり、国を挙げて推進している施策です。国では、令和7年6月までにキャッシュレス決済比率を倍増し、4割程度とすることを目指しており、IT新戦略（世界最先端デジタル国家創造宣言・官民データ活用推進基本計画）ではデジタル・ガバメント（行政のデジタル化の徹底、オンライン化の促進等）の実現に向けた具体的計画が打ち出され、キャッシュレス決済もその一つに位置付けられています。また、接触機会を低減することによる感染症拡大防止施策としても注目を集めており、導入する自治体が増えています。

キャッシュレス決済の一つであるコード決済は、来庁者のスマートフォンでQRコードを読み込むことにより、窓口で支払う手数料や使用料等をオンラインで決済できるものであり、クレジットカードや電子マネー等、他のキャッシュレス決済よりも導入経費や維持管理費が安価となっています。また、コード決済の利用者は近年急増しており、民間の事業者や店舗でも導入が進んでいます。

つきましては、今般、PayPay株式会社と「公共施設の使用料等のバーコード等決済に関する協定書」を締結し、白石市での一部窓口支払いに関して、QRコード決済「PayPay」の試験導入を実施することとしました。

1. 協定書締結年月日 令和3年9月28日
2. 試験導入する施設・窓口 税務課窓口（諸証明発行手数料及び閲覧手数料）
3. 試験導入の期間 令和3年10月下旬から当面の間
4. システム利用料 決済金額の1.5%（消費税別）
5. 試験導入の目的 公共施設・市役所窓口でのキャッシュレス決済において、窓口業務における課題の洗い出しや利用者ニーズの調査を実施し、今後のキャッシュレス決済の導入可否、種類、手法の検討を行います。
6. 備 考 必要に応じて、試験導入を実施する公共施設・市役所窓口の追加を検討していきます。

※「QRコード」は、株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

令和3年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金事業 10月専決 分野別一覧表

(単位:千円)

No.	事業名称	事業概要	事業費	予算			担当課
				款	項	目	
B 地域経済対応分							
◆ 事業継続等に対する支援							
・農家に対する支援							
1	営農活性化連携推進事業	新型コロナウイルスの影響を受けた稲作農家等を支援するため、共同利用機械を導入し、稲作農家等へ貸し出し、農作業の負担軽減及び効率化を図ることにより、地域農業の活性化を推進する。	11,796	6	1	8	農林課
2	水田高度利用団地化推進事業	新型コロナウイルスの影響を受けた稲作農家等を支援するため、水稻の転作を推進する上で、個人で分散している農地を集約して転作に取り組む農業者に対し、一定の団地化要件を満たした場合に、補助金を交付する。	1,501	6	1	8	農林課
分野計			13,297				
C 事業者支援分							
◆ 事業継続等に対する支援							
・事業者等に対する支援							
3	事業継続支援金(第三期) ※既決予算含む	まん延防止等重点措置や緊急事態措置となるなど新型コロナウイルス感染症の影響が長期化し、売上が回復しない中小企業者等への支援として、事業継続を下支えするための支援金を支給する。	70,732	7	1	2	商工観光課
分野計			70,732				

総合計	84,029
------------	--------

事業費総合計のうち	
10月専決分	26,084
既決予算分	57,945

[別紙3]

令和3年10月定例記者会見資料

学校における生命（いのち）の安全教育推進事業について

担当：教育委員会学校管理課

本市では、文部科学省から標記事業の委託を受け、子どもたちの命を守る取り組みを強化することといたしました。本事業は、性犯罪・性暴力の根絶に向け、生命の尊さを学び命を大切にする教育を推進し、子どもたちを性暴力の加害者・被害者・傍観者にさせないための教育・啓発活動を強化するもので、内閣府と文部科学省が共同で作成した教材・指導の手引きを活用し、指導モデルの作成と成果の普及に取り組むものです。

1. 実践校

福岡中学校、福岡小学校、深谷小学校

2. 取組の概要

3校連携を推進し、小中9年間で目指す子ども像を「自己効力感を持ち、学びを生活や社会で生かす児童・生徒」とする福岡中学校区において、児童生徒の実態や発達段階に応じた生命についての授業実践や職員研修を行い、教材の自校化や独自化を目指します。

<スケジュール>

- | | |
|---------|---------------------------------|
| 10月～11月 | 3校職員研修会
第1回児童生徒アンケート |
| 11月～12月 | 生命についての授業実践
生命を大切にする教育指導計画作成 |
| 12月～1月 | 第2回児童生徒アンケート |
| 2月～3月 | 取組のまとめ・報告 |

〔歳入〕	15款 国庫支出金	3項 国庫委託金	
	3目 教育費国庫委託金	1節 教育総務費委託金	
	1細節 生命の安全教育推進事業委託金		1,063千円
〔歳出〕	10款 教育費	1項 教育総務費	3目 教育振興費
	25事業 生命の安全教育推進事業		
	7節 報償費	234千円	
	8節 旅費	154千円	
	10節 需用費	675千円	
	11節 役務費	3千円	1,066千円

令和3年10月定例記者会見資料

「白石市電子図書館をオープンします」



担当：教育委員会 図書館



図書館サービスの充実と利用者の利便性向上を図るとともに、児童・生徒の読書活動の推進及び学校内・在家庭における学習支援を目的に、公立図書館としては、県内初の電子図書館をオープンします。

(1) 利用開始日

- ・令和3年10月20日（水）から

(2) ご利用できる方

- ・市内居住者及び在勤・在学の方で、図書館利用者カードをお持ちの方

(3) 利用方法

- ・白石市電子図書館にアクセスし、ID（利用者カード番号）とパスワード（生年月日）を入力しログインする。

(4) 貸出冊数・期間など

- ・貸出冊数：2冊
- ・貸出期間：1週間

(5) 蔵書数

- ・500冊（うち260冊が児童書、残りが一般向け）

(6) 導入財源

- ・令和3年度新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金を活用

(7) その他

- ・今年度約1,000冊の蔵書を予定しており、残り約500冊は年度末まで蔵書します。